

「ミレニアム世代」また新星

平田初

中島&蟬川に続く

憲聖



22歳ホストプロPOで中島撃破

全英切符

400人目の初優勝
 ●「日本ゴルフツアー機構」主催の「全英オープン」で、平田憲聖(大阪学院大3年時)が初優勝した。優勝賞金は100万円。平田は、今大会で、2000人目の初優勝者となった。平田は、今大会で、2000人目の初優勝者となった。

最終日は前位5打差を奪った。4番まで苦しい闘いが続いたが、その後は6バーディーの猛打ちで、最後まで一気にはなされた。首位を奪った。

「自信になった」
 ホリファウェイを振って、きた平田が笑みながら、18番ホールを舞踏した。19番ホールで、グリーン右手前のバンカーから放った3打目をタリと寄せ、1打のスクランをねらった。世界アマチュアンク1位の中島を下しての初勝利。本誌素直なインタビューで、その簡単に勝てたことは分かっていた。勝つことができ、自信になったと胸を張った。

5位から出た平田憲聖(22)が、6バーディー、ホリファウェイの66で回り、通算アンダー2で並んだ中島晋太(22)と、このプレーオフ3ホール目で初優勝した。1973年の本大会で、初優勝した。1973年の本大会で、初優勝した。1973年の本大会で、初優勝した。

関係者スポーツ画
 中島 晋太 122打、6バーディー、66で回り、通算アンダー2で並んだ中島晋太(22)と、このプレーオフ3ホール目で初優勝した。1973年の本大会で、初優勝した。1973年の本大会で、初優勝した。



4番、ティーンショットを放つ平田

順位	名前	スコア	差
1	平田 憲聖	134	0
2	中島 晋太	134	0
3	蟬川 竜之介	135	+1
4	金谷 将也	136	+2
5	安藤 裕之	137	+3
6	山手 あり	138	+4
7
8
9
10

大阪学院大3年時日本学生V
 ☆生年月日 2000年(平成12)11月28日生まれ、大阪府枚田出身の22歳。
 ☆サイズ 身長170cm、血液型はA型

初優勝金切符付きで、海外ツアー初めに乗り出す。一腕を磨き、その勝利は、これまで通った男子ゴルフの将来を担う「ミレニアム世代」に、新たなレガシーが現れた。山手 あり

同世代が刺激に
 大塚大で、2022年の17年に関西アマチュア選手権で優勝。大阪学院大2年で日本学生選手権を制した。21年、日本学生選手権を制した。21年、日本学生選手権を制した。21年、日本学生選手権を制した。

しは憲聖ができたが、目を細めた。
 大塚大で、2022年の17年に関西アマチュア選手権で優勝。大阪学院大2年で日本学生選手権を制した。21年、日本学生選手権を制した。21年、日本学生選手権を制した。

プレーオフを制し、カットホースの平田(撮影：井田 史夫) ●中島が優勝し全英オープンへの切符を手にした。 ●平田がプレーオフ3ホール目で優勝を挙げた。 ●平田は、今大会で、2000人目の初優勝者となった。

順位	名前	スコア	差
1	平田 憲聖	134	0
2	中島 晋太	134	0
3	蟬川 竜之介	135	+1
4	金谷 将也	136	+2
5	安藤 裕之	137	+3
6	山手 あり	138	+4
7
8
9
10

土壇場追いつくもPO3H目痛恨ボギー

中島は18番でバーディーを奪い、土壇場で首位に追いついたがプレーオフに敗れてプロ初優勝を逃した。プレーオフ3ホール目で、ティーンショットを左の地に入れてしまい、痛恨のボギー。「ちょっとターゲットにずれて目線が左になってしまった」と肩を落とした。それでも全英オープンの出場権は2年連続で獲得。「今年はプロとしてプレーできることがうれしい。去年の予選落ちのリベンジをしたい」と意気込んだ。



全英オープンの出場権を獲得した(左から)平田、中島、金谷、安藤

58位でシード権を獲得。
 ☆父親 憲良(のりよし)さん(82)、母 勝美(まさみ)さん(55)、姉・清乃(のの)さん(25)
 ☆趣味 ミニチュアジュンワザサー2匹。名前は、フコとヒビ。「全部可愛いわ。存在自体が全部癒やし。ゴルフを

頑張る理由の一つ」と溺愛中。
 ☆プロデビュー理由 プロアマ大会でともにラウンドした、ミズノの水野明人社長は「これから将来、勢いが出てくるんじゃないかな」と開幕前に最も注目する選手として名前を挙げていた。

プロアマ大会でともにラウンドした、ミズノの水野明人社長は「これから将来、勢いが出てくるんじゃないかな」と開幕前に最も注目する選手として名前を挙げていた。